るるぶ²

食べる、寝る、遊ぶ、学ぶ

大殿小学校　校長室だより
平成30年度　第１２号（7月18日）
校長　　磯　村　　勇

１学期が終わります

連日の猛暑です。汗びっしょりで登校する子どもたち、朝から３０度越えの教室、青空の下でのプールでの学習、日焼けしてたくましく見える子どもが一人二人と増えていく・・・、まもなく１学期が終了するそんな時期の風物詩が、大殿小学校でも見られます。

４月の始業式で、子どもたちに話したのは、「食べる、寝る、遊ぶ、学ぶをしっかりやろう」「自分以外の誰かを幸せにしよう」の２つのことでした。この２つは、いずれも生きていく上での基礎となるものです。「食べる、寝る・・」は、健康・体力づくりと勉強を、「自分以外の・・」は、人とのかかわりの面を表しています。

さて、夏休みの子どもたちに期待するのも、この２つです。「食べる、寝る・・・」については、学年に応じて「規則正しい生活」「夏休みならではの体験」などの言い方で指導しています。しっかり食べて寝て、体を動かし、地域の行事にどんどん参加し、本をたくさん読み、頭も体も心も大きく成長して２学期を迎えてほしいと思います。

もう１つの「自分以外の誰かを幸せにする」ことについては、「家族や、地域でのあいさつ」について、今一度子どもたちに考えてほしいと思います。

あいさつというのは、「私はあなたに敵意を感じていません。あなたのことを、認めていますし、大切に思っています」という気持ちを表現する言葉です。「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」「ただいま」「おやすみなさい」・・・、時間や相手によって使う言葉はそれぞれですが、すべて「あなたを大切に思っています」という気持ちの表れなのです。

あいさつをされると、誰もがうれしい気持ちになります。それは、「あなたを大切に思っています」というメッセージが伝わるからなのですね。つまり、１回あいさつをすれば、自分以外の誰かが幸せな気持ちになるということなのです。

大殿小学校の子どものあいさつによって、うれしい気持ちになる人が一人ずつ増えていく。そんな夏休みを夢描いている・・・。２０日の終業式では、子どもたちに、そんな話をしたいと思っています。

県教育委員会からのお知らせ

山口県教育委員会が作成している広報誌「ふれあい夢通信」は、これまで定期的に紙媒体で配布されてきましたが、本年度からホームページを通じて情報発信されることとなりました。今月からは、県教育・イベント・読者プレゼント情報など、夏の特集記事が掲載されています。山口県教育に関するさまざまな情報が得られますので、下記アドレスにアクセスされ、ぜひご一読ください。

○　ふれあい夢通信ホームページアドレス

http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50100/kkt/fureyume.html

※　山口県教育委員会のトップページから、ふれあい夢通信のページに入ることもできます。